

# 産業建設委員会

期日：平成 26 年 7 月 23 日(水)

場所：301 号会議室

1 開会

2 委員長挨拶

3 主管部長挨拶

4 所管事務調査

(1) 後期計画における施策・事務事業の成果について

資料 No. 1

① 施策及び対象事務事業説明

※要望については、各委員、ステップ 2（個別評価）評価書の提出時に提案として提出願います。

② 評価対象の抽出について

資料 No. 2

③ 今後の日程について

委員会名	ステップ 1 (委員会) [評価結果説明]	ステップ 2 (個別評価) [評価書提出期限]	ステップ 3 (協議会) [意見交換・集約]
総務委員会	7/23(水) 午前 9 時	7/30(水) 午後 5 時	8/4(月)午前 9 時：301 号会議室
社会文教委員会	7/23(水) 午前 9 時		8/4(月)午前 9 時：議員談話室
産業建設委員会	7/23(水) 午前 9 時		8/4(月)午前 9 時：201・202 号会議室
予備日	7/24(木)		8/5(火)※現地調査

資料 No. 3・4

(2) 管外視察の日程について

①候補日 9月 24 日(水)～26 日(金)

10月 20 日(月)～22 日(水)

※議会日程 10月 1 日(水)～3 日(金)、6 日(月)～8 日(水) 議会報告会

10月 16 日(木)・17 日(金) 議会改革推進会議視察

5 閉会

## 平成26年度 議会による行政評価 実績評価説明予定表（産業建設委員会）

日時：7月23日（水） 午前9時～  
会場：301号会議室

施策番号	事務事業番号	施策名 事務事業名	施策主管課 事務事業担当課
1-1		支え、育む産業基盤づくり	産業振興課
1-1	24-06	雇用対策事業	産業振興課
1-1	25-01	農業課合同事務所事業	農業課
1-1	25-04	耕作放棄地解消事業	農業課
1-1	25-06	豆・そばによる遊休農地活用事業	農業課
1-1	27-04	卸売機能健全化推進事業（卸売市場事業特別会計）	商業・市街地活性課
1-1	29-03	環境技術開発センター運営事業	工業課
1-1	30-05	中小企業金融対策事業	金融政策課
1-2		未来を見据えた地域産業の魅力、強み、人材の強化	産業振興課
1-2	25-09	農作物被害対策事業	農業課
1-2	25-16	『南信州牛』ブランド推進事業	農業課
1-2	25-17	市田柿生産体制強化支援事業	農業課
1-2	26-06	間伐促進対策事業	林務課
1-2	27-01	商業活性化支援事業	商業・市街地活性課
1-2	28-16	天龍峡温泉交流館管理事業	観光課
1-2	28-17	海外誘客促進事業	観光課
1-3		新しい力による新しい産業づくり	産業振興課
1-3	24-07	首都圏等交流活動支援事業	産業振興課
1-3	24-08	人材誘導事業	産業振興課
1-3	25-37	農業新分野創出・6次化推進事業【25新規】	農業課
1-3	27-05	にぎわい創出店舗活用事業	商業・市街地活性課
1-3	28-05	飯田観光協会運営事業	観光課
1-3	28-13	体験教育旅行を含む体験型観光推進事業	観光課
1-3	28-18	まちなか誘客促進事業	観光課
4-4		交通機関と道路の充実	土木課
4-1	22-10	雨水排水対策事業	下水道課
4-1	33-09	橋りょう耐震整備事業	土木課
8-4	33-39	動物園管理運営事業	土木課
4-5		居住基盤の向上	経営管理課
4-5	21-06	緊急連絡管整備事業	水道課
8-1	34-12	リニア調査事業【25新規】	国県リニア事業課
1-1	34-01	三遠南信自動車道関連事業（天龍峡大橋添架歩廊設置）【25新規】	国県リニア事業課
5-1		緑の保全と創出	林務課
8-3		計画的な空間利用の推進	地域計画課
8-4		活気ある街づくりの推進	商業・市街地活性課

## 平成26年度 評価対象事業調査票（産業建設委員会）

議員名

この調査票は、26年度評価対象とする事業を抽出するために使用します。  
説明を聞き、評価対象とするべき事業の「評価対象」欄に○印を、またその理由を記入してください。

なお、説明順に附番しています。

番号	施策番号	事務事業番号	施策名 事務事業名	評価対象	評価対象とする理由
1	1-1		支え、育む産業基盤づくり		
2	1-1	24-06	雇用対策事業		
3	1-1	25-01	農業課合同事務所事業		
4	1-1	25-04	耕作放棄地解消事業		
5	1-1	25-06	豆・そばによる遊休農地活用事業		
6	1-1	27-04	卸売機能健全化推進事業（卸売市場事業特別会計）		
7	1-1	29-03	環境技術開発センター運営事業		
8	1-1	30-05	中小企業金融対策事業		
9	1-2		未来を見据えた地域産業の魅力、強み、人材の強化		
10	1-2	25-09	農作物被害対策事業		
11	1-2	25-16	『南信州牛』ブランド推進事業		
12	1-2	25-17	市田柿生産体制強化支援事業		
13	1-2	26-06	間伐促進対策事業		
14	1-2	27-01	商業活性化支援事業		
15	1-2	28-16	天龍峡温泉交流館管理事業		
16	1-2	28-17	海外誘客促進事業		
17	1-3		新しい力による新しい産業づくり		
18	1-3	24-07	首都圏等交流活動支援事業		
19	1-3	24-08	人材誘導事業		
20	1-3	25-37	農業新分野創出・6次化推進事業【25新規】		
21	1-3	27-05	にぎわい創出店舗活用事業		

番号	施策番号	事務事業番号	施策名 事務事業名	評価対象	評価対象とする理由
22	1-3	28-05	飯田観光協会運営事業		
23	1-3	28-13	体験教育旅行を含む体験型観光推進事業		
24	1-3	28-18	まちなか誘客促進事業		
25	4-4		交通機関と道路の充実		
26	4-1	22-10	雨水排水対策事業		
27	4-1	33-09	橋りょう耐震整備事業		
28	8-4	33-39	動物園管理運営事業		
29	4-5		居住基盤の向上		
30	4-5	21-06	緊急連絡管整備事業		
31	8-1	34-12	リニア調査事業【25新規】		
32	1-1	34-01	三遠南信自動車道関連事業 (天龍峡大橋添架歩廊設置)【25新規】		
33	5-1		緑の保全と創出		
34	8-3		計画的な空間利用の推進		
35	8-4		活気ある街づくりの推進		

# 議会 施策チェック表(第5次基本構想基本計画進行管理表)

資料No.3

平成26年度 施策個別評価票(産業建設委員会)

評価者

議員

番号	施策番号	施策名	25年度施策全体の評価について	当該施策に係る提言
			課題認識、方向性は正しいか	
1	1-1	支え、育む産業基盤づくり		
9	1-2	未来を見据えた地域産業の魅力、強み、人材の強化		
17	1-3	新しい力による新しい産業づくり		
25	4-4	交通機関と道路の充実		
29	4-5	居住基盤の向上		

# 議会 施策チェック表(第5次基本構想基本計画進行管理表)

資料No.3

33	5-1	緑の保全と創出		
34	8-3	計画的な空間利用の推進		
35	8-4	活気のある街づくりの推進		

## 平成26年度 事務事業個別評価票

説明対象とした全事務事業が表示してあります。各委員会で「評価対象」とした事務事業について記載してください。

委員会名	産業建設委員会
議員名	

番号	事務事業番号	事務事業名	事務事業の方向性(該当欄に○を付けてください)					方向性選択の根拠・意見
			拡大	現状維持	やり方改善	縮小	廃止	
2	24-06	雇用対策事業						
3	25-01	農業課合同事務所事業						
4	25-04	耕作放棄地解消事業						
5	25-06	豆・そばによる遊休農地活用事業						
6	27-04	卸売機能健全化推進事業(卸売市場事業特別会計)						
7	29-03	環境技術開発センター運営事業						
8	30-05	中小企業金融対策事業						
10	25-09	農作物被害対策事業						
11	25-16	『南信州牛』ブランド推進事業						
12	25-17	市田柿生産体制強化支援事業						
13	26-06	間伐促進対策事業						
14	27-01	商業活性化支援事業						
15	28-16	天龍峡温泉交流館管理事業						
16	28-17	海外誘客促進事業						
18	24-07	首都圏等交流活動支援事業						

番号	事務事業番号	事務事業名	事務事業の方向性(該当欄に○を付けてください)					方向性選択の根拠・意見
			拡大	現状維持	やり方改善	縮小	廃止	
19	24-08	人材誘導事業						
20	25-37	農業新分野創出・6次化推進事業【25新規】						
21	27-05	にぎわい創出店舗活用事業						
22	28-05	飯田観光協会運営事業						
23	28-13	体験教育旅行を含む体験型観光推進事業						
24	28-18	まちなか誘客促進事業						
26	22-10	雨水排水対策事業						
27	33-09	橋りょう耐震整備事業						
28	33-39	動物園管理運営事業						
30	21-06	緊急連絡管整備事業						
31	34-12	リニア調査事業【25新規】						
32	34-01	二遠南信自動車道関連事業 (天龍峡大橋添架歩廊設置)【25新規】						



平成24年度決算認定認定に係る施策及び事務事業に対する提言

資料No.4

【産業建設委員会】

施策・事務事業の区分 施策名及び事務事業名	No.	事 務 方 向 性	施策及び事務事業に対する議会の提言
支え、育む産業基盤づくり	11		<ul style="list-style-type: none"> <li>・工業出荷額、既存事業者の消費額(観光)など軒並み成果指標が悪くなっており、施策全体の評価としては「あまり進まなかった」と言わざるを得ない。</li> <li>・農業分野:販売農家戸数や農産物出荷額の推移も把握した上で出荷額増加につながるよう事業に取り組みたい。</li> <li>・林業分野:補助対象となったこともあり搬出間伐面積が増加し成果が見られた。今後も木材の需要開拓や林道整備を進め、出荷額の増加に取り組みたい。</li> <li>・商業分野:卸売市場の対応のみならず、小売業、卸売業へのテコ入れのため具体的な対策を検討されたい。</li> <li>・観光分野:飯田の観光の目玉づくりなど見える誘客戦略を進められたい。</li> <li>・工業分野:成果指標である工業出荷額が伸びていないため、継続的な企業支援策を講じられたい。</li> </ul>
雇用対策事業	22-6	や り 改 方 善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都内で開催している企業と大学の情報交換会に、より多くの関係者が参加できるよう工夫されたい。</li> <li>・就労のミスマッチがあることを課題としてとらえ、対応策も含め事業を進められたい。</li> <li>・ジョブカフェいいだや県のパーソナルサポートセンターなどの関係機関とも連携し雇用対策に取り組みたい。</li> </ul>
豆・そばによる遊休農地活用事業	23-6	拡 大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊休農地の活用には有効な事業である。NPOみどりの風とも連携し、さらに事業を周知するなど栽培面積の拡大を図られたい。</li> <li>・本事業による遊休農地の解消状況を把握し、効果を検証されたい。</li> </ul>
卸売機能健全化推進事業(卸売市場事業特別会計)	25-4	や り 改 方 善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会情勢の変化に伴い商品の流通経路も変化してきている。今後卸売市場としての役割をどう果たしていくか、事業内容を検証されたい。</li> <li>・買い物弱者対策も含め地元産業を支え育むことを目的とした対策に取り組みたい。</li> </ul>
未来を見据えた地域産業の魅力、強み、人材の強化	12		<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果指標である既存事業者の消費額(観光)が減少している。リニア時代に向けての誘客施策を検討されたい。</li> <li>・成果指標が施策11と同じであり、目的とズレがあるため評価が難しいが、「あまり進まなかった」と言わざるを得ない。</li> </ul>
農作物被害対策事業	23-9	拡 大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥獣被害対策を更に強化すべき。</li> <li>・猟友会や警察との連携を図り、住宅地でも使用が可能な捕獲用具の利用の検討など捕獲の工夫をされたい。</li> <li>・モンキードックを増やすための教習所の検討など効果的な対策を講じられたい。</li> <li>・竜西に出没しはじめたシカについても、被害が拡大しないうちに対策を講じられたい。</li> </ul>
飯田の木で家を建てるプロジェクト事業	24-9	や り 改 方 善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助対象は、建築費用を負担する施主に特化した方が効果的である。</li> <li>・補助金額の増額。県予算での間伐材搬出をし、無償提供などを検討されたい。</li> <li>・補助金交付以外にも、在来工法のメットPRなど、地元の木を使ってもらえるような工夫をされたい。</li> </ul>
天龍峡活性化事業	26-17	現 状 維 持	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺の整備事業は実施されてきている。</li> <li>・今後は、ターゲットの明確化や舟下り以外の誘客の目玉づくりといった、施設やソフト面での充実を図るなど観光消費額増加に向けて取り組まれたい。</li> <li>・再生マネージャーを効果が現れるように活用されたい。</li> </ul>
天龍峡温泉交流館管理事業	26-18	廃 止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該施設の利用の方向性が明確にならないので、過去の経過も踏まえ事業を廃止すべき。</li> <li>・地元の要望による管理運営、使用にあたっては、指定管理者制度の導入や周辺整備の状況を見据えた利用方法を検討すべき。</li> </ul>

平成24年度決算認定認定に係る施策及び事務事業に対する提言

資料No.4

【産業建設委員会】

施策・事務事業の区分 施策名及び事務事業名	No.	事 務 方 向 性	施策及び事務事業に対する議会の提言
新しい力による新しい産業づくり  人材誘導事業  新産業クラスター事業  にぎわい創出店舗活用事業	13  22-8  27-19  25-5	事 務 方 向 性  や り 改 方 善  現 状 維 持  現 状 維 持	・起業支援事業者数、新規就農者数共に減少傾向にあり、目的の意図に対して「あまり進んでいるとは言えない」。十分な現状把握と関連事業の内容を検証されたい。  ・事業を進めるにあたり、地域経済活性化が先決である。また求人と求職のミスマッチの課題について対応策を検討されたい。 ・企業等地域側のニーズに基づいた人材誘導に加え、UIターン者側のニーズに合った新しい産業づくりに取り組まれたい。 ・キャリアデザイン室が寄り付きにくい場所にあること、また、ジョブカフェの場所と離れていることは改善すべき。  ・航空宇宙産業クラスターの形成にあたり、これまでプロジェクト立ち上げや、共同受注、共同開発の支援など行政として役割は一定程度果たしてきた。今後も引き続き支援を行うが、人材育成など定着するまでの期間を必要とするため民間主導での事業展開が求められる。  ・空き店舗の利用については、商業者に加えUIターン者やNPOなどの発想も取り入れ多様な活用ができるよう取り組まれたい。 ・中心市街地のみならず郊外の空き店舗の利用促進も図られたい。 ・事業を進めるにあたりまちづくり委員会等、地元の知恵も借りながら取り組まれたい。
交通機関と道路の充実	44		・道路の維持、改良、市民バス等計画した事業は着実に進んでいる。 ・リニア時代に向け県とも連携しつつ三遠南信自動車道など交通網の整備を進められたい。 ・公共交通機関利用についてより多くの市民が利用できるよう、専門家の助言を受けるなど検討をされたい。 ・交通弱者への対応を検討されたい。
居住基盤の向上  飯田子どもの森公園管理運営事業  妙琴浄水場更新事業  森林づくり推進支援金事業	45  31-36  17-8  24-27	現 状 維 持  現 状 維 持  現 状 維 持	・施策の方向性は良い。また、市民満足度も約80%と成果が上がっている。 ・将来的に上下水道、河川、公園など維持管理コストの増加が予想されるため、計画に基づいた効率的な事業運営をされたい。  ・各種イベント企画などにより24年度は入園者数が増加しており評価できる。今後も施設の安全、維持補修に努めつつ市民の満足度を高めるよう取り組まれたい。 ・目的である「不都合なく利用できるという」表現が具体性に欠ける。積極的に取り組む姿勢が感じられるような表現になるよう検討されたい。  ・将来の水需要の動向も踏まえ、持続可能な経営と水の安定供給に努められたい。 ・松川ダム再開発事業による原水の変化に対応した事業計画を早急に示されたい。  ・県民税活用事業のため搬出間伐が少ない。間伐材の無償提供など新たな利用を検討されたい。 ・薪ストーブ向けの薪ステーションの整備を検討されたい。 ・竹林整備のため導入した破碎機について知らない地域もあるので、さらにPRし有効利用されたい。

平成24年度決算認定認定に係る施策及び事務事業に対する提言

資料No.4

【産業建設委員会】

施策・事務事業の区分		No.	事 務 方 向 性	施策及び事務事業に対する議会の提言
施策名及び事務事業名				
日常的な環境負荷低減活動の展開		55		<ul style="list-style-type: none"> <li>・施策の方向性は良い。成果指標である省エネ活動等に取り組む市民の割合やISO取組事業者も増加しており評価できる。</li> <li>・エネルギー問題が国民全体の関心事となっており、省エネ等の活動の量的成果の見える化など、環境モデル都市としてさらなる成果向上に向け取り組まれない。</li> </ul>
廃棄物の減量と適正処理		56		<ul style="list-style-type: none"> <li>・不法投棄の発見通報件数を除けば21年度からほぼ横ばいである。事務事業の充実が望まれる。</li> <li>・分別について市民啓発は浸透しているが、最終処分場の埋め立てゴミの30%近くが再利用可能なものと言われている。新たなごみ焼却施設の建設も踏まえた分別方法の検討や小型家電等のリサイクルシステム構築を検討されたい。</li> </ul>
	ごみ減量推進事業	20-25	拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レジ袋削減の成果は上がっている。分別の徹底やリユース、リサイクルにより更なるごみの減量に取り組まれない。</li> <li>・事業所の意識向上など、事業所排出ごみの減量を促進されたい。</li> </ul>
	不法投棄対策事業	20-29	拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境文化都市をめざす飯田市として不法投棄を撲滅するよう取り組まれない。</li> <li>・条例制定など市民の理解、協力を得ながら事業を推進されたい。</li> </ul>
社会の低炭素化の推進		57		<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国に先駆けた再生可能エネルギー条例の導入など取り組みは評価できる。</li> <li>・温室効果ガス排出量の削減に向け、市民、事業者への更なる働きかけをされたい。</li> </ul>
	新エネルギー推進リーディング事業	21-11	拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制定された再生可能エネルギー条例も活用し、上村小沢川の水力発電事業の成功に向け取り組まれない。</li> <li>・小水力発電以外にも未利用の新エネルギー活用に向け研究を進められたい。</li> </ul>
計画的な空間利用の推進		83		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区が主体となった土地利用方針の策定など取り組みは評価できる。</li> <li>・人口減少や高齢化など地域の状況によって、空間利用の課題も変化してきている。空き家対策について早急に条例整備を行い取り組まれない。</li> </ul>
活気ある街づくりの推進		84		<ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組みについては評価できる。</li> <li>・居住人口の減少が課題であり、その対応策を検討されたい。</li> <li>・住みやすさと言った生活基盤を整え、滞留人口増による活性化の対策を講じられたい。</li> </ul>
	地域振興住宅整備事業	(85) 30-7	やり改 方善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1戸あたりの単価を上げ地域産材を使用した住宅や、設計施工分離方式なども検討すべき。</li> <li>・入居者の地域貢献の状況など事業効果の把握に努められたい。</li> </ul>
評価 対象 数	施策	10		
	事務事業	17		
	計	27		